

平成 31年 3月 18日

所属機関 大学院国際日本学研究院
職・氏名 教授・林俊成

1. 実施場所 台湾淡江大学淡水キャンパス
2. 実施形態 教室見学および教壇での教育実習
3. 実施日程 2019年 3月 1日 ～ 2019年 3月 11日

4. 実施内容

今回淡江大学での教育実習の実施にあたって、学部大学院を合わせて10名の学生も参加した。全員とも1年生の会話、1年生の文法、3年生の会話練習の3種類の授業を教室見学および壇上での教育実習を実施した。1名の学生に対して、5コマの壇上実習を確保し、最低4コマの授業見学を確保した。なお、学生たちに空いている時間があれば、見学するように指示したため、1名あたり、6コマ以上の見学を行っていた。

5. 成果 (アンケートがある場合はその内容も含めて)

学生たちは、最初担当教員の授業を見学した後、教案を作成し壇上の実習に挑む。また、壇上教育実習を実施した授業に対し、最低1名の見学の学生が参加するようにしてあるが、全授業毎回ほぼ2-3名の見学者の参加があった。そして、毎日の夜7時から、その日に実施した壇上実習授業の反省会を行い、実施者の反省点および見学者からみたところを議論した。また、その授業の指導教員からのアドバイスも、ここではほかの参加者と共有した。本反省会は、毎晩非常に熱い議論を行われ、今回3種類も違うタイプの実習を行い、違うタイプも教室での実習になったため、学生たちの反応状況や教室の問題点など先行者の実施した経験が後実施する学生に対し、参考の価値が非常に高く、一人だけの実習では、得られない教育効果だと思われる。

この実習は、学生が壇上に上るたびに、その態度や自信を目に見えるほどよくなり、夜の反省会も、その熱い討論内容を見て、参加者にとって、非常に価値の高い教育実習だと思う。



全員の集合写真



グループ教室での教える風景

コンピュータ教室で教えた後の集合写真



一般教室での教える風景



一般教室での教育活動



グループ教室の終了後集合写真



コンピュータ教室での教える風景